

2024.03.14. 木曜礼拝「主はそこにおられる。」

エゼキエル書 47章 & 48章 & 聖餐式

JD フアラグ牧師

一緒に祈りましょう。主よ、私たちは、人生であなたを輝かせたいのです。しかし、そのためには、私たちの人生にあなたが必要です。ですから、私たちがあなたの御言葉の中で過ごせるこの時間が非常に大切に重要なのです。今夜の学びの時間を祝福くださいますか？ JD 牧師を祝福ください。彼を見守り、導き、ご家族を守り続けてください。今夜の時間を感謝します。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。こんばんは。皆さんは、今歌った賛美曲を楽しみすぎですよ。ご着席ください。来てくださってうれしいです。ようこそ。今夜はいかがお過ごしですか？聞くまでもないですね。さっきの最後の賛美曲で。少しペンテコステ派に傾倒していたようですが、何も言わないことにします。オンラインの方もようこそ。今の話、わからないですよ。ごめんねウェブサイトを見れば分かりますから。きっとウェブサイトで見ている、同じことをされているかもですね。とにかく、主を褒め称えます。わお！凄かったです。来てくださり大変嬉しいです。今夜は一緒に聖餐式に与ります。また聖餐式セットを取っていない方は、今のうちに取っておいてください。後ろに2箇所、手前に1箇所の、テーブルに置いてあります。オンラインの皆さんは、一緒に聖餐式に与るなら、今のうちに準備しておかれるのが良いと思います。聖書の学びの終わりに、一緒に与れるように。ではいくつかお知らせです。まず、火曜夜の祈り会の教えへのリンクをウェブサイトに掲載しますが、多くの方がご存知の、乳がんと戦っている私の妻についての称賛報告に加え、先週木曜日のリンクも掲載します。スティーブ・サントス牧師が来てくださってからもう一週間が経ったなんて、信じられます？『イエスはラハイナを愛しておられるパート2』も、もしまだ見ておられないなら、このリンクから見るができます。ご覧になれば、きっと豊かな祝福を受けるでしょう。今夜がどんな日か知っていますか？今夜は何が起こるのか？「エゼキエル書」を学び終えるんです。最後の2つの章です。私は知りたくないの、言わないでね。「エゼキエル書」を始めたのは、いつだったかな？しばらく前でしょ。急いでいませんでした。しかし今夜は、節ごとの学びで、この書、この驚くべき「エゼキエル書」を学び終えます。そして、それは魅力的な結末です。最後の章、そして最後の節にあるように、この書は4つの言葉で締めくくられています。全部大文字で、怒りの大文字ではなく、絵文字もなく、当時、絵文字はありませんから。でも、全部大文字で4語。『THE LORD IS THERE』主はそこにおられる。つまり、壮大に、美しく、預言者エゼキエル、そして彼とともにエゼキエル書を要約しています。では皆さん、改めて袖をまくり上げてください。主がそこにおられることを知らなければ、またそれを知るまでは、私たちが気にも留めないような測定や割り当てがさらにあるからです。こんな風に考えてください。ディナーや何かのイベントに招待されて、誰かがその招待の席でこう言う。「ねえ、彼らがそこにいるのよ。」「彼らがいるの？じゃあ、私は行く！！」ひっくり返してみて、招待されたけど、彼らがいなければ、「あ～私、その夜は忙しいんだ。私も行かない。」でも、誰がいるかわかっていれば、そこに行きます。それがこの2つの章のすべてで、今、この書の終わりに向かって、この最後の4つの言葉で書の終わりにつながる、ある種、最高潮を見えます。私がこう言うとき、皆さんも同意してくれると思うからです。主がそこにおられるなら、私もそこにいたい。同じことを別の方法で言います。私は主がおられるところにいたいのです。逆に、主がそこにおられないなら、私には興味がありません。主がおられないの？(プ～!) 私は行かない。主がおられないのなら。でも主がおられるなら、早めに行く。だって主がおられるなら。そしてそれは、言い方はマズイですが、私たちの人生すべてにつけられる見出しであるべきです。私たちの生活の中、すべてに主がおられるのか？主はそこにおられるのか？主がそこにおられるなら、これから見ていくように、主がそこにおられる結果、何が起こるのか。今から入りますけど、私たちが学んで行く間、私はベストを尽くしますが、そうしながらも、このエルサレムの千年王国の文字通りの神殿に関する記述には、すべての寸法や割り当てなど、一見平凡に見える多くの詳細があって、イスラエルの12部族への土地の割り当て、聖なる場所の位置、寸法、場所、君主のいる場所、12部族のいる場所、そしてもちろん、もっと重要なのは、限りなく重要なのは、主がおられる場所です。その結果、何が起こるのか。では、準備はいいですか？始めましょう。1節、

—エゼキエル 47:1—

彼（40章で紹介されているツアーガイド）は私（エゼキエル）を神殿の入り口に連れ戻した。・・・

・・・見ると、水が神殿の敷居の下から東の方へと流れ出ていた。神殿が東に向いていたからである。その水は祭壇の南、神殿の右側の下から流れていた。

一エゼキエル 47：2一

次に、彼は私を北の門から連れ出し、外を回らせ、東向きの外門に行かせた。見ると、水は右側から流れ出ていた。

主がおられるところは、いのちの水があります。そして水は、豊かな人生、すなわち、生きた水の奔流のように満ち溢れた力強い人生の型です。信者の人生における聖霊の力です。今からすぐにそれが分かります。あまりに寓話的にしたくありません。というのも、これは文字通り水源で、いのちの水だからです。

一エゼキエル 47：3一

その人は手に測り縄を持って東の方に出て行き、千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

一エゼキエル 47：4一

彼がさらに千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水は膝に達した。（かなり深いですね。）彼がさらに千キュビトを測り、私を渡らせると、水は腰に達した。（さらに深いです。）

一エゼキエル 47：5一

彼がさらに千キュビトを測ると、水かさが増して渡ることでできない川となった。川は泳げるほどになり、渡ることでできない川となった。

では、私が長年使ってきた描写をもとに説明したいと思います。日曜日、先週だったと思いますが、牧師が前の週に何を教えたか覚えていないのはかなりマズいですが、その描写は、聖霊の力を、カヌーを浜辺の砂から海に浮かべようと自分の力ですること例え、押ししてもどうやっても動かない。それで、兄弟をみんな呼んで手伝わせ、彼らが押しして奮闘しても、まだほとんど動かない。そして突然、潮が満ちてきた。すると小指だけで、今まで動かせなかったカヌーを動かせる。水は難なくその潮の流れの力によって、カヌーを海に運び出す。それが聖霊の力です。私たちにはできないことがある時に、聖霊があなたに臨む。エゼキエルはこう言います。「私には渡れない。非常に深いから。」言い換えれば、渡れる唯一の方法は、聖霊の力によってのみである。それは、神殿から流れ出るこの水に示され、描写されています。こんな風に言います。主がおられるところにいのちがある。これがいのちの水で、主がおられるところに聖霊がおられ、聖霊の力がある。主がそこにおられるなら、いのちがそこにあり、聖霊の力がそこにあります。

一エゼキエル 47：6一

彼は私に「人の子よ、あなたはこれを見たか」と言って、私を川の岸に連れ帰った。

一エゼキエル 47：7一

私が帰って来て見ると、川の両岸に非常に多くの木があった。

一エゼキエル 47：8一

彼は私に言った。「この水は東の地域に流れて行き、アラバに下って海に入る。海に注ぎ込まれると、

（これ聞いてください→）その水は良くなる。

どういう意味かわかりますか？ これを見てください。イスラエルに行ったことがある人は、死海がなぜ死海と呼ばれるかご存知ですね？ 死んでいる海だから。中には何の生物もない。その中に浮かんだのを見ていますか？ 塩分濃度が桁外れに高いのです。その中では何も生きられません。だから死海と呼ぶのです。で、泳げません。浮かぶだけです。ですから新聞は読めます。（浮かんでるから）私の例えを更新する

必要がありますね。でも、これは死海について語っています。「ちょっと待って、牧師さん、それが死海なのですか？」いいえ、もはや死海ではありません。この海は生きています。「それがそこにあるってことですか？ もちろんこれは比喩的な話で、霊的であって、文字通りではないでしょ？」いいえ、文字通りです。47章を読むだけでもわかるように、それから48章もですけど、(比喩なら)このような具体性はありません。比喩的な表現なら、そんな具体性は見られません。そう、私はこの海(sea)を見る(see)のが待ちきれません。言葉遊びでしょうけど、もう死んでいません。生きています！ そして水が癒される(よくなる)。主のいるところに癒しがある。いのちがある。そして、この海にはいのちがある。9節を見てください。

一エゼキエル 47：9一

この川が流れて行くどこでも、(これ大好きです。)そこに群がるあらゆる生物は生き、・・・(さらに良くなります。)・・・非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入るところでは、すべてのものが生きる。

皆さんわかりましたか？ ですから、主がそこにおられれば、そこにはいのちがあり、癒しがあり、どこでもそれが行くところに、この川が流れます。こんな風に言わせてください。主がこの方向に向かっておられるなら、それが私の行きたい方向です。私は主が行くところに行きたい。そう、主がどこへ行かれようとも、それが私の向かう先。そこにいのちと癒しがある。ところで、大きな魚が釣れそうですね。いいえ、これは比喩ではありません。霊的でもありませんよ。これは本当に起こるのです。因みに、ネタバレ注意。この後、その話に入りますけど、私たちは仕事をするので。あなたの心が沈む前に、、、「ちょっと待って。千年王国で働くの？」はい。天国でも仕事があります。「本当は、あの別の場所でじゃないの？ 天国で仕事をしたいの？」覚えておいてください。あとで戻りますから。ですから、そこでは魚が釣れ、もう大物の話は必要ありません。「こんなでっかい魚を釣ったぞ～！ みんなどうだい？」は。いいえ、その必要はありません。本当に大きいのが釣れるから。サイズも大きく、大漁です。さらに良くなります。

一エゼキエル 47：10一

漁師たちは、(言った通りです。)そのほとりに立つ。(この具体性→)エン・ゲディからエン・エグライムまでが網を干す場所になる。・・・

「釣り竿を使うんじゃないの？」いいえ、網です。彼らは網を使うんです。

・・・その魚は大海の魚のように、種類が非常に多くなる。

一エゼキエル 47：11一

しかし、(興味深いことに)その沢と沼は水が良ならず、塩を取るのに使われる。

待って。何ですって？ 塩は取り除かれると思ったのに。塩がなくなり、死海はもう死海じゃないと。いいえ、まだ塩はあります。私たちは塩があつて欲しいのですよ。なぜか？ なぜなら塩は風味を出すから。主がおられるところには風味がある。これは、クリスチャンに関する世の中の嘘とは正反対です。なんということ。

「キリストのもとに行く前に、私はすべての楽しみを手に入れるんだ。だってクリスチャンになったら、退屈なんだから。全く面白みがなく、ただの、、、」いいえ！ キリストのもとに来るまで、あなたは生きていない。そう、「ダニエル書」でこれが分かると思います。来週の箇所ではありませんけど、主の御心なら、私たちがまだここにいるなら、御心なら、その翌週に。この素晴らしい人物を見る箇所です。当時はまだ若かった。彼はバビロンにいます。70年間ずっといるという説もあります。もしその時彼が20歳代だったのなら、、、私は先走ってますね。まだ「ダニエル書」じゃない。もう少し辛抱してね。でも、彼は90代まで生きるのです。なんという人生でしょう。でも、クリスチャンの人生はいのちで、さらに豊かないのちなのです。イエスは仰いました。

「わたしが来たのは、あなたがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。」(ヨハネ 10：10参照)

あなたがそう思っても、、、これこそが生きた人生なんです。救われていなければ、いのちを生きているとは言えません。あるいは、こんな言い回しは？「残りの半分（お金持ち）はこうして生きる。」それに対して私が言うのは、お金持ちの人達がそう生きてても救われていないなら、私は今いるこちら側で結構です。それは生きてるとは言わないから。そう、その風味といたら！ キリストのもとに来るまで、私は風味を知らなかった。私は人生を生きていた。そう、キリストの下へ来る以前の人生についてあまり詳しく言いたくありませんけど、私がキリストのもとに来たとき、何という味や色、意味や目的でしょう。塩は風味だから。塩が何をするのか？ 塩というのは、防腐と保存です。ええ、私はその塩を少しいただきます。だからそこには塩があります。そして塩もまたいのちです。原語では、塩という言葉は単に塩、海の塩という意味ではありません。これはいのちを与える塩です。こんな表現を聞いたことがあるでしょう。塩がとても貴重なものであったため、古代の人々は実際に塩で給料を支払っていました。だからこういう表現があるのです。Man's worth his salt. (塩にふさわしい) 価値がある/有能なこの表現がどこから来たのか、考えたことはありますか？ 今お伝えしました。それを知らない人たちに、どう言うか知りましたね。知っているね。彼らがそれを知って、考えるでしょう。「わお、どうして知っているの？」OK。もう十分ですね。12節、ここまで大丈夫ですか？

一エゼキエル 47：12一

川のほとりには、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。」

私はそれを知っていました！！ いえ、本当に。このことに夢中になっている人の中には、このことをすでに知っている人もいるでしょう。しかし、神は特定の植物、特定の食べ物も造られました。さあ、これどうです？ あなたがリサーチしたいなら、、、私たちがいかに恐ろしいほどに、素晴らしく造られているかと思ったら（詩篇139：14参照）。

驚愕すると思います。野菜や果物の中には、神が私たちの体の部位に特化して造られたもの、薬になるもの、健康に良いものがあるのを知っていますか？ 例をあげましょうか？ ニンジンが目に良いことは知っています。ニンジンを切ると、目のような形が見えます。セロリは骨。クルミは脳。私はクルミが必要ですね。でしょ？それに同意、アーメンですよ。私はもっとアーモンドを食べないと。あの形は、トマトは心房と心室、心臓。もう一つあります。これは気をつけて言わないと。アボカドは、女性の生殖システム。もう1つ、本当に素晴らしいものがあります。もちろん、神にしかおできになりませんが、これらの特定の果物や野菜が、私たちのためにどのように恐ろしいほど素晴らしく造られているか、実際に研究されています。私たちは恐ろしくも素晴らしく造られていて、私たちにとって良いものだからです。ハーブがどれだけたくさんあるかご存知でしょ？ もう1つ、本当に重要な例を挙げます。よろしいですか？ やりすぎです？ OK。これは本当に素敵ですよ。追加料金なし。あの賢者、実際3人だったかどうか分かりませんが、東方、こんにちでいうイランやペルシャから来た側近や多くの賢者だったという説もあります。彼らが救い主に持参したのは、実際はヨセフとマリアに、ですけど、ところで、イエスは、飼いや桶の中にいる赤ん坊ではありませんでした。賢者たちがベツレヘムに行った時、イエスはすでに家の中にいました。ですから、どのくらい時間が経ったのかはわかりませんが、赤ん坊ではなく、この時点で幼児でした。ですから、飼いや桶のシーン、あなたにはごめんなさいね。クリスマスまでまだ少し時間があるのは分かっていますが、私は完全に台無しにしました。それに気づいて教えてからは、もうこれを持ち出すこともありません。当方からの3人の賢者は、そこにいもしません。彼らはあっち行って。行った行った。だから、2、3の動物だけになってしまった。ええ、これはちょっとね、じゃあ、なんでわざわざ飾るの？色々あるけど。でも、なぜ彼らがゴールド、乳香、没薬を持ってきたか知っていますか？ 乳香は薬になります。没薬も。ゴールドは、エジプトへの旅費を提供。ヘブライ人の2歳未満の男子の赤ん坊を殺そうとするヘロデから彼らを守るために、神が彼らに行かせられる場所です。その当時、ヘブライ人の男の子は、言いようのない方法で虐殺されました。しかし、それにはお金と旅費がかかり、とても過酷でした。ですからゴールドで、いや、金貨なんて想像しないでください。いいえ、彼らが持参したのは、金塊でした。イエスは神の化身です。父なる神がヨセフとマリアに与えてくださるものです。ヨセフとマリアに、救い主がお生まれになりました。経済的な備えが必要で、ペルシャからゴールドが届きます。この側近には大きなワゴンがたくさんあ

ります。ですから、必要なゴールド、必要な資金です。神の子、子なる神を育てるのだから。これらゴールドは二の次で、私が本当に注目し、皆さんに注目してもらいたかったのは薬です。彼女は出産したばかりだったから。だからマリアは、乳香と没薬が必要でした。乳香を癌に局所的に塗ると、癌が縮小するのですよ。ご存知でしたか？ ご存知なかった？ では、あなたは他の何かを知りました。知らない人に教えてあげれば、その人は知ることになります。するとあなたは、、、もう止めておきます。ポイントは分かりましたね？ これは千年王国の事です。これらの多くの木々は薬になるでしょう。ちょっと待って。栄光の体を手に入れるんじゃないかったの？ いいえ、彼らはそうなりません。彼らは、アダムとエバのような血肉の肉体を持つことになります。ですから、千年王国には死があります。非常に珍しいことですが、千年王国には病があり、しかし、これは予防になるのです。その話には行きたくありませんが、こんにち、現代の薬なら、、、いやいや、止めておきます。(主よ) 止めるのですよね。はい。

一エゼキエル 47：13ー

神である主はこう言われる。・・・

ごめんなさい。許してね。止めておいた方が良いのです。

一エゼキエル 47：13ー

神である主はこう言われる。「あなたがたがイスラエルの十二の部族に、この地を相続地として与えるときの境界は、次のとおりである。ヨセフには二つ分を与える。

彼にはマナセとエフライムという2人の息子がいましたね。名前は性質を表わします。マナセは、アラビア語と基本的な語源は同じで、忘れる、過ちを忘れるという意味があります。マナセは「忘れる」エフライムは「実を結ぶ」ヨセフは、兄たちにされたことを許し、忘れることですね？ ですからヨセフは、2人の息子の名を、「許して忘れて、実を結ぶ」と名付けました。神が彼を繁栄させ、実を結ばせたからです。つまり、この2つの相続地はヨセフの2人の息子のためのものです。14節、

一エゼキエル 47：14ー

あなたがたは、それを等分に割り当てなければならない。それは、わたしがかつて、あなたがたの父祖たちに与えると誓約したものである。この地は相続地としてあなたがたのものである。

一エゼキエル 47：15ー

その地の境界線は次のとおりである。北側は、大海からヘテロン¹の道を経て、レボ・ハマテ、ツェダデ、

一エゼキエル 47：16ー

ベロタ、および、ダマスコの領土とハマテの領土の間にあるシブライム、さらに、ハウランの領土に面したハツェル・ハ・ティコンに至る。

改めて、なぜこれを知る必要があるのか？ これは誰にとっても、人生の聖句じゃありません。補足すると、この15節や16節は、あなたの壁や壁紙には貼られません。またしても、これは本当に詳細です。理由を言いましょ。千年王国にイスラエルとなるこれらの境界線は、彼らが所有したことはないけれど、ずっと彼らのものだった土地だからです。1番の約束の地は、約束の地は、エジプトの一部、私の生まれ故郷のレバノン、地図を見ればわかりますが、イスラム教徒はそれをレバントと呼びます。彼らはそれをイスラエルと呼びません。巨大な土地です。そして、彼らが約束の地を所有したのは、ダビデ王の統治下でのことで、イスラエルに与えられた約束の地の境界線のせいぜい10分の1でした。ですから、神は彼らがそれ以前に所有しなかったものを補っておられるのだと言えるでしょう。なので、千年王国で彼らは、全て手にします。シリアのダマスカスは？ ええ、それも入っています。そして、エジプトの一部にまで及びます。今から見ていきます。17節、

一エゼキエル 47：17ー

こうして、境界線は海から始まり、ダマスコの境界のハツェル・エナンに至り、北は北の方へ、ハマテの

境界にまで至る。これが北側である。

つまり、これは広大な土地です。最初から彼らのものでした。

—エゼキエル 47：18—

東側は、ハウランとダマスコの間と、ギルアデとイスラエルの地の間のヨルダン川が、・・・

(ええそうです!) いわゆるパレスチナ人ですが、彼らはそうではありません。彼らはパレスチナ国家を目指すアラブ人です。あなたがた、もう持っているでしょ? ヨルダンと呼びます。いいえ、実際そうです。私の母はヨルダンで生まれました。ヨルダンの首都アンマン郊外の小さな町。しかし、約束の地が現代のヨルダンの一部を含んでいたことをご存知ですか?

・・・東の海を経てタマルに至るまでの境界線である。これが東側である。

—エゼキエル 47：19—

南側は、タマルから南に向かって、メリバテ・カデシュの泉とエジプト川に至り、大海に至るまでである。これが南側である。

—エゼキエル 47：20—

西側は、大海が境界となり、レボ・ハマテに面した地点にまで至る。これが西側である。

—エゼキエル 47：21—

あなたがたは、この地をイスラエルの部族ごとに割り当てなければならない。

最終的に、千年王国を迎えるまでかかりました。しかし、イスラエルは、彼らと契約を結び、彼らをこの土地に導かれた神から約束された土地を手に入れます。神に最終決定権があられ、正しくされたと言えますね。時間がかかりましたけど、今、その過ちが正されます。

—エゼキエル 47：22 (後半) —

—————この地を自分たちの相続地として、くじで割り当てなければならない。・・・

転がして投げるようなくじではなく、相続地のサイズです。そして、私は断言します。千年王国で相続地は、カイルア内の敷地面積よりも大きくなるでしょう。5000平方フィート。でも、それはたいした大きさではなく、たぶんとイレ用です。ごめんなさい。別の例を使えばよかった。それを踏まえて考えているだけです。巨大な土地です。そして、これが相続地です。これが彼らの相続地です。彼らのものです。それが彼らに与えられていました。彼らのために、あなたがたに。では、これを聞いてください。

—エゼキエル 47：22 (前半) —

あなたがたと、あなたがたの間で子を生んで、あなたがたの間に寄留している者にとに、・・・

(ちょっと待ってください。) 移民について話しているのですか? そんな風に私を見ないでください。こう言いたいと思います。言い方には気をつけますが、言わなければなりません。私の両親は、私が生後9カ月で中東から合法的にアメリカに移住しました。両親がそうしてくれたことに神を褒め称えます。そうでなかったら、私は救われていたかどうか、私が生きていたかどうかもわかりません。なぜなら、アメリカは安全、聖域、救いの象徴だったからです。そうしていなかったら、、、ところで、私はすでにクリスマスを手無しにしましたが、ついでに他のものも手無しにしましょう。移民は、人々ですね? ご存知でしょう? 国境を越えて来ている人たち。イエスはそのために死なれました。彼らにはイエスが必要です。イスラエルで、イスラエル人は、外国人、つまり移民がこの地に来ることを許さなければなりません。そして、イスラエルは彼らを正しく扱い、面倒を見なければなりません。移民を敵と考えると、私たちは大きな間違いを犯すと思います。誤解しないでください。メールもしないでください。非常に邪悪で、悪で、危険な人々が国境を越えていることは知っています。それを言っているわけではありません。想像もできないよ

うな場所から離れる家族についての話です。土の床に、ある種の保護カバーがかけられている。お金も水も食料もない。そして、彼らは命からがらその地域から逃げています。彼らは命懸けで逃げています。両親がイスラム教から逃れるため中東を離れたことは知っています。両親は、イスラム教徒ではなかったから。それは生と死の問題で、そして私にとって、アメリカに来ることが、イエス・キリストを知ることができるかどうかの問題でした。これは、、、バケツ釣りの話をしましょう。その表現ご存知でしょ？ 素晴らしい伝道の機会です。でも違う。私たちは政治的な態度を取っています。ちょっと待ってください。それは間違いです。気づきましたか？ エゼキエルは、ツアーガイドに見せられながら、書くように促されたのは、この寄留者・移民があなたがたの間に住み、あなたがたの間に子を産むことです。彼らは家族です。子供達です。そして、彼らに勝ち目はありません。これは宣教対象、私たちが彼らのところへ行く代わりに、私たちにもたらされたのです。私はそれについて何度も説明するつもりはありません。ただ、そのことについて私の心を分かち合いたいと思っただけです。私たちはそれを見逃していると思います。それは神の御心ではありません。彼らは、イエスがそのために死なれた人々で、イエスを必要としています。OK。

(22節後半)・・・あなたがたは彼らを、イスラエルの子らのうちに生まれた者と同じように扱わなければならない。彼らはイスラエルの部族の中であって、あなたがたと一緒に、くじで相続地の割り当てを受けなければならない。

「何だって？ 彼らに私の相続地は渡さないよ。」ですか？

—エゼキエル 47：23—

寄留者には、その滞在している部族の中で、その相続地を与えなければならない—神である主のことば。それで47章が終わります。そして、48章1節に移ります。

—エゼキエル 48：1—

部族の名は次のとおりである。北の端からヘテロンの道を経てレボ・ハマテに至り、北にハマテを望む、ダマスコの境界のハツアル・エナンまで —東側から西側まで— これがダンの分である。

—エゼキエル 48：2—

ダンの地域に接して、東側から西側までがアシエルの分。

さて、ここで何が起きているかおわかりですか？ 土地を手に入れ、計測値と割り当てを得て、今から、どの部族に与えられるかがわかります。まずアシエルです。これらはすべて、、、ひとつだけコメントしてもいいですか？ 先週、このことを考えていました。こうは言うつもりはありません。それは確信で、非難ではなく、そして、私もその中に含まれています。私たちの何人が12人の有名人の名前を挙げられるでしょうか。俳優やアーティスト、いわゆるレコーディング・アーティスト、テレビ界の大物スター、ロックスター。でも、そのうちの12人は名をあげることが出来るでしょう。あなたではないですよ。他の肉欲的なクリスチャンのことを言ってます。いいフォローだったでしょ。彼らは最低12人の有名人の名前を挙げることができますが、弟子たちの名前を5人でも挙げられるか、聞いてみてください。あるいは、12部族のうちの3部族はどうでしょうか。福音のために。繰り返しますが、私は非難するつもりはなく、確信です。それは聖霊です。非難は聖霊ではあられません。確信であれば主に近くなり、非難は主から遠ざけるからです。しかし、ちょっとだけ考えてみてください。聖霊があなたの心に接することができるようにしてください。なぜなら、聖書の知識不足は、つまり、率直に言って、人々を気の毒に思っています。千年王国の間、彼らはとんでもない衝撃を受けることになります。あれは誰？ あれが誰なのか、知らないの？ あれはアシエルだよ。僕の相棒のアシエル。アシエルって誰？ ヤコブの12人の息子の一人だよ。ヤコブって誰？ もういいからあっち行って。冗談でしょ？ 彼らは知らないのです。そして、彼らにとってこれらの人々はよそ者になってしまうでしょう。彼らは、、、あなた方のうち何人が、、、ひっくり返してもいいですか？ というのも、何人かの人たちは私を、「うわあ、意地悪だなあ、すごく納得させられたし。」みたいな目で見ているから。ええ、私にとってもです。しかし、神の御言葉の生徒や教師の私たちは実際、どうですか？ 私たちはエゼキエルのような人たちを知っています。この人物を知っているような気がします。先のエレミヤ

やイザヤのように。新約聖書はどうですか？ ペテロをずっと知っているような気がします。理由は、、、説明する必要ありませんね。皆さんの幾人かも。私たちはペテロに重ね合わせます。私たちはペテロの書簡や福音書から彼を知っています。私たちは使徒パウロをよく理解し、親しんでいます。私たちはすべての書簡を学びました。「使徒の働き」だけでも。つまり、私たちはタルソのサウロとして知っていて、神はただ、、、神が捕まれ、彼は使徒パウロになり、パウロは聖霊の靈感を受け、これらの書簡をすべて書きました。ちなみに、これはちょっとした余談ですが、今夜は余談がたくさんあります。あと1つで終わります。いや、それは約束できないから言えません。ですが、「ヘブル人への手紙」の作者が誰なのか、私は知っているような気がするからです。はい、私たちは知るようになります。そ！知ってたんだ～！！ 彼を保護拘留所のようなところに入れねばならないでしょうね。証人保護プログラムは最後に救われる異邦人と共に。私が完全に確信するのは、彼らが永遠に証人保護プログラムを受けなければならないこと。理由は、彼らが名札を付けていたら、「携挙前に事を妨げていた最後の異邦人です。」と。はい、名札です。はい、それはよろしくありません。ご想像にお任せします。あまり行き過ぎないように。すでに進行中の聖書の学びに戻ります。そこにはアシェルがいます。これらは実際の人々で実際の部族です。12人の息子がイスラエルの12部族となりました。私たちが「ヨハネの黙示録」に辿り着く時、それが主の御心なら、もし携挙が先に起こらないなら、で、私たちは不平は言いませんけど、来週の木曜日に「ダニエル書」に入り、今度の日曜日ではなく、その次の日曜日に、「ヨハネの黙示録」に入ります。神だけがその時（タイミング）を整えることができになります。「ヨハネの黙示録」では、12人の弟子たちの名前が新しいエルサレムにあって、12部族の名前は、千年王国の神殿にあります。ですから、知らない人がいたら紹介したいのは、知るようになるからで、あなたがそれを知ったら、それはおそらく良いことです。名札を見る必要はないので。「こんにちは、アシェルです。」とはね。「ある晩、JD 牧師の聖書の学び時、あなたのことを聞きました。JD 牧師はいつものように行き過ぎましたけど。」いずれにせよ、その時は、問題じゃありません。

一エゼキエル 48：3一

アシェルの地域に接して、東側から西側までがナフタリの分。

一エゼキエル 48：4一

ナフタリの地域に接して、東側から西側までがマナセの分。マナセの登場。

一エゼキエル 48：5一

マナセの地域に接して、東側から西側までがエフライムの分。

一エゼキエル 48：6一

エフライムの地域に接して、東側から西側までがルベンの分。

(ルベンはヤコブの長子です。)

一エゼキエル 48：7一

ルベンの地域に接して、東側から西側までがユダの分である。(ユダを忘れてはいけません。)

ユダはその息子の1人で、ユダ族の獅子から世の救い主が来られます。そう、私ならそんなことはしませんが。私なら絶対に、何の疑いもなく、世の救い主はユダではなくヨセフの血筋からです。ユダが何をしたかご存知ですか？ 良くありません。悪いことです。マタイとルカに記されている救い主の系図を見たことがありますか？ 心臓の弱い人はご遠慮ください。あなたはこの家系図について話したい、、ところで、「アンセストリー・ドットコム」(家系図調査) これそのものが、問題です。そうするのが大変怖いです。私は知りたくありません。だって、それって、私の祖祖父とか、祖父の叔父が、ヤーセル・アラファトとか？ その点に関しては、知らぬが仏です。私のような者は知りたくありません。知りたくありません。しかし、「ユダ」、彼の血筋は良くありません。しかし、ユダから世の救い主がお生まれになります。なぜそれを指摘するのか？ なぜなら、イエスはそのような人々のために来られたからです。この世の救い主が、パウロが書くような、俗に言う、身分の高い良血統の家系からお生まれにならなかったことが嬉しくありませんか？

「もちろん世の救世主はその家系から生まれるんだぞ。」いいえ、世の救世主はユダから来られました。ユダの家系はどれほど卑しむべきか？ そう、すべて御父のされたこと。私はそのことを受け入れます。

一エゼキエル 48：8ー

ユダの地域に接して、東側から西側までが、あなたがたの献げる奉納地となる。その幅は二万五千キュビト、その長さは、東側から西側に及ぶ部族の割り当て地の一つと同じである。聖所はその中央にある。

一エゼキエル 48：9ー

あなたがたが主に献げる奉納地は、長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトである。

一エゼキエル 48：10ー

祭司たちへの聖なる奉納地は次のとおりである。北側は二万五千キュビト、西側は一万キュビトの幅、東側は一万キュビトの幅、南側は二万五千キュビトの長さである。

主の聖所はその中央にある。主がおられるのは、私の人生の中央である。私の人生で、イエス・キリストが中心におられることが極めて重要です。私が、キリストにあってキリストのために、キリストのご栄光のために人生を生きたいのなら。

一エゼキエル 48：11ー

この区域は、ツアドクの子孫で聖なる者とされた祭司たちのものである。彼らは、イスラエルの子らが迷い出たとき、レビ人が迷い出たように迷い出ることなく、わたしへの務めを果たした。

言い換えると、あなた（レビ）は解雇です。そこまで厳しくはないですが、わたしは祭司ツアドクに与えます。イスラエルの民が道を踏み外したとき、あなたたち（レビ）も道を踏み外したからです。しかし、ツアドク、ツアドクの息子たちはそうではなかった。彼らは忠実なまま。

一エゼキエル 48：12ー

彼らの地域はレビ部族の地域に接し、奉納地のうちでも最も聖なる地である。

一エゼキエル 48：13ー

レビ部族の分は、祭司たちの地域に接して、長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトである。すなわち、全体の長さは二万五千キュビト、幅は一万キュビトである。

ところで、これは巨大です。いいですか？ キュビト22インチは約22×25000。家で計算してください。今はしないでください。

一エゼキエル 48：14ー

彼らはそのどの部分も、売ったり取り替えたりしてはならない。その初めの土地を譲り渡してはならない。主の聖なるものだからである。

もちろん、神聖な覆われた注意喚起のようです。彼らの捧げる方法で、、、私はこう言うのを聞いたことがあって、これは非常に良いです。神があなたに与えられたことを人に与えないでください。それが彼らのしていたことです。より現代的に言うと、平和のための土地。「いいえ。あなたが彼らに与えることはできません。それはわたしの土地です。わたしがあなたにそれを与えました。あなたは彼らにそれを与えるのですか？」

一エゼキエル 48：15ー

幅五千キュビト、長さ二万五千キュビトの残りの地所は、町の一般用であり、（どれくらい現実的か？）居住地と放牧地のためである。町はその中央に建てられなければならない。

—エゼキエル 48：16—

その大きさは次のとおりである。北側は四千五百キュビト、南側は四千五百キュビト、東側は四千五百キュビト、西側は四千五百キュビトである。どの側面も同じだと思います。

—エゼキエル 48：17—

また、町の放牧地は、北へ二百五十キュビト、南へ二百五十キュビト、東へ二百五十キュビト、西へ二百五十キュビトである。

—エゼキエル 48：18—

残りの地所の長さは、聖なる奉納地に接し、東へ一万キュビト、西へ一万キュビトである。それは聖なる奉納地に接している。・・・

ここです。・・・そこから収穫した物は町の働き人の食物となる。そこには仕事があります。主はそこにおられる。なぜそこに仕事があるのか。まあ、今にわかります。

—エゼキエル 48：19—

その町の働き人はイスラエルの全部族から出て、これを耕す。

それは大変な仕事です。

—エゼキエル 48：20—

奉納地の全体は二万五千キュビト四方であり、あなたがたは、聖なる奉納地を町の所有地とともに献げることになる。

—エゼキエル 48：21—

聖なる奉納地と町の所有地の両側にある残りの地所は、(これについて話しましたね。ダビデだと信じます。→) 君主のものである。これは二万五千キュビトの奉納地に面し、そこから東の境界までである。西の方も、その二万五千キュビトに面し、そこから西の境界までである。これは部族の割り当て地にも接して、・・・

これがわかりますか？

・・・君主のものである。聖なる奉納地と神殿の聖所とは、その中央にある。

(あるべき場所に。)

—エゼキエル 48：22—

君主の所有する地区の中にあるレビ人の所有地と、町の所有地を除いて、ユダの地域とベニヤミンの地域との間にある部分は、君主のものである。

因みに、ベニヤミンは一番年下で、ヨセフとベニヤミンは実の兄弟であり、二人の末の弟でした。ヨセフが、末の弟を連れて来させるために兄弟を送り返した時の全記述を覚えていますか？ ヤコブはこう言います。「ダメだ。ベニヤミンの兄（ヨセフ）が死んで、今度はこの子なのか。」(創世記 42：38参照) ヤコブは、辛辣な言葉を言います。「すべてが私に敵対している。」この先に何が待ち受けているのかを知ってさえいれば、ヨセフは生きています。それはイエスの型です。ベニヤミンは、、ヨセフは知りたかったのです。ヨセフとベニヤミンは大変仲が良かったのです。ヨセフは知りたかったのです。ヨセフはまずこう尋ねます。「おまえたちの父親はまだ生きていますか？」(創世記 43：27参照)

心の奥深くでは、「父さんは？父さんは生きていますか？」でも、ヨセフはそうは言いません。そしてこう尋ねます。「他に兄弟は？」「はい、末の弟がいて、家にいます。」「おお、その弟は元気か？」彼らは相手がヨセフだと知りません。「(私の一番下の弟。私たちは、、、もう17年も会っていない。) 弟は元気か？連れて

来なさい。あなたがたはスパイだと思っている。」いいえ、彼らはスパイではありません。ヨセフの兄弟です。で、これがベニヤミンです。ところで、ベニヤミン族は、エルサレムがある土地のベニヤミン族です。

—エゼキエル 48 : 23—

なお、残りの部族は、東側から西側までがベニヤミンの分。

—エゼキエル 48 : 24—

ベニヤミンの地域に接して、東側から西側までがシメオンの分。私なら彼に土地を与えないでしょう。

ユダは悪かった。シメオンが何をしたかは話せますが、わかりますね。自分で読んでください。

—エゼキエル 48 : 25—

シメオンの地域に接して、東側から西側までがイッサカルの分。

—エゼキエル 48 : 26—

イッサカルの地域に接して、東側から西側までがゼブルンの分。

—エゼキエル 48 : 27—

ゼブルンの地域に接して、東側から西側までがガドの分。

—エゼキエル 48 : 28—

その境界線は、ガドの地域の南側を延び、タマルからメリバテ・カデシュの水、さらにエジプト川に沿って大海に至る。

—エゼキエル 48 : 29—

以上が、あなたがたがイスラエルの部族ごとに、相続地としてくじで分ける土地であり、以上が彼らの割り当て地である—神である主のことば。

私たちがこれで終わったと思った時、エゼキエルは今、出口がどこなのかを示す必要があります。

—エゼキエル 48 : 30—

町の出口は次のとおりである。北側は四千五百キュビトの長さで、

—エゼキエル 48 : 31—

町の門にはイスラエルの部族の名がつけられている。・・・

それが、、、失礼（咳）。黙示録の中で、それが再現されます。12人の弟子の名前、12部族の名前、神の権威・完璧な政府の数である12。

・・・北側の三つの門は、ルベンの門一つ、ユダの門一つ、（私の息子の名前→）レビの門一つ。

名言したかっただけです。もう少しで終わります。

—エゼキエル 48 : 32—

東側も四千五百キュビトで、三つの門がある。ヨセフの門一つ、ベニヤミンの門一つ、ダンの門一つ。

—エゼキエル 48 : 33—

南側も四千五百キュビトの長さで、三つの門がある。シメオンの門一つ、イッサカルの門一つ、ゼブルンの門一つ。

ーエゼキエル 48 : 34ー

西側も四千五百キュビトで、三つの門がある。ガドの門一つ、アシェルアセリの門一つ、ナフタリの門一つ。

ーエゼキエル 48 : 35ー

町の周囲は一万八千キュビト。・・・そして、お待たせしました。・・・この町の名は、その日から『主はそこにおられる』となる。」

私はその町に住みたいです。ほら、「カネオへへようこそ。」それはいいですかね。カイルアにはまだあります。落書きされてますけど。「カイルア・タウンへようこそ。」「主はそこにおられる」へようこそ。承知しました！ー(笑)ー 上手く行きましたか？ 仕事について話します。墮落前、仕事は祝福されていたと言ったらどうでしょう？ 私たちが知っているような肉体での仕事は、永遠に続く仕事とは似ても似つきません。私たちは永遠で働くこととなります。アダムとエバが園で仕事を与えられたとき、呪われる前、仕事は祝福されていました。そして、罪が入り込んだとき、大地(仕事)はあなた/アダムのゆえに呪われる。あなたは、顔に汗を流して糧を得る。(創世記 3 : 17~19 参照)

それが仕事が呪われるようになった時です。しかし、仕事は呪われてはいませんでした。仕事は祝福されていました。ここで私が考えているのは、これについて、あまり時間をかけません。聖餐式のために残りの時間を使いたいからです。私はこう言いたいのです。天国では、、、考えてみてください。あなたが何よりも楽しんでいること。それが天国での仕事になります。しなければならないのではなく、「got to/義務」ではなく、「get to/特権」です。あなたは時間に追われることもありません。必要ありません。あなたは永遠の中にいるのです。時間はありません。しかし、大変満足されています。人々が引退する時、特に男性は、時に引退が近くなると、心臓発作を起こします。このことをご存知ですか？ ですから、神は私たちを働くように設計されました。自分の手の仕事から大きな満足を得ること。ですから、仕事は、、、わかりませんが、私が憶測の域で話したのは、自分の仕事内容を知りたいからです。私は天国で何をやるのか？ 今、私にあるのは、恐ろしい考えで、神が私にこう仰ること。「あなたにしてほしいのは、ペーパークリップを手配すること。」永遠のほとんど。けど、終わりが無いから、永遠に続くんです。「あなたを郵便室から異動させます。もうその方がいいでしょう。」私はチャートと分析に移動します。そこで、、、私はそれが大好きだからです。ご存知、チャートの整理が大好きなんです。すべての「聖書預言・アップデート」で出てきます。ところで日曜日、またチャートを出します。本格的なチャートではないです。まああのチャートで、ええ、そう！チャートです！！ただ整理整頓が好きだけです。ただ、大きな満足感があって、私はこの整理整頓能力があるんです。あまり話が逸れないと言いましたが、はい、もう1つ。で、私が持っている整理整頓用品で、私がしたいのは、、妻は私にこう言います。そう、逆の人間がどのように、、あなたの反対です。2人とも同じなら、どちらかが不要になってしまうからです。そのことを考えたことはありますか？ まあ、とにかくそれは妻が私に言ったことです。ですから、私はそれを良しとしなくちゃね。で、彼女は私に何か渡し、「これを整理してくれる？」私を見て、こう言います。「どうやってこんなので生きていけるの？ 全てこうきちんとしていないと、、、」でも彼女がすることは、私はすべてこう整えます。ええ、私もその一人ですよ。わかっています。あなたは、、あなたがたの中にもそういう人がいるでしょ。自分が誰なのか分かるね？ あなたは全てが、、整理整頓されていなければならないし、曲がっていたら、(我慢ならず) こうじゃないと、、、何も考えることはできません。「曲がっている！！」曲がっているから、真っ直ぐにする。真っ直ぐに直します。すると私は、またきちんと機能します。ここで、妻の登場です。彼女は言います。結婚35年だと、こうします。彼女はそれを見て、「こうすべきだわ。パァッ。」(崩す)

お分かりでしょ、彼女には怒れませんよ。はい、私は、ただ、それを見て、、で、私は妻に愛想笑いをします。愛想笑ってわかりますか？ えへへへへへ(作り笑い)とにかく、私が皆さんに伝えようと思っていたのは、意味深なポイントで真実でした。お！私は整頓するのが好きなんです。天国で、主がこう仰るのではないかと、「わかっています。わかっています、わたしはあなたをそのように造りましたから。わたしがそのように設計しました。あなたが大変満足することを知っています。」ですから、神は永遠で私にそれをさせられます。そこにはすごく大きな乱れがあって、「わたしはあなたにそれを整理してもらいたい。」「本当ですか？ わかりました。」あなたはなんでもあなたがすることをしてください。あなたと主の間に任せます。ですから、笑わないでください。通りかかったら挨拶してください。「うお、あの乱れを見てください。あ

あなたが整理整頓するんですね。」分かっていますよ。私はこれをするのが大好きなんです。あなたはあそこでそれをしていると、私は言う。「私はそんなことは絶対にできない。」主はそれをご存知でした。それがあなたがそれをしない理由です。十分ですか？ 私たちは祝福されます。彼らが何もせずに座っていたら？ 何も？ 礼拝は？ 私たちは永遠で礼拝を捧げます。こんなふうにはなりません。「はあ、、、」違います。こんなふうに、私たちは礼拝するために造られました。このようにです、、、とにかく、私たちの誰も理解できないほど輝かしいのです。私はただ、この仕事が祝福に満ちたものであることを皆さんに伝えたいと思います。本来あるべき姿のまま、永遠で。私たちは仕事をし、作り出します。これら、これらの働き手の生産物。私たちは永遠に実りある働き手です。納期も営業ノルマもありません。プレッシャーもありません。私たちはただ、作り、豊かに実らせ、仕事をします。それは永遠に輝き続けます。以上です。望むほどの時間は残せませんでした。私は今、角を曲って、「ルカの福音書 22 章」に進みます。「最後の晩餐」と愛称する箇所です。

ー ルカ 22 : 14 ー

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、(12人の)使徒たちも一緒に座った。

ー ルカ 22 : 15 ー

イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をすることを、切に願っていました。

ー ルカ 22 : 16 ー

あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。」

ー ルカ 22 : 17 ー

そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。

ー ルカ 22 : 18 ー

あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」イエスはこれを2度仰いました。

ー ルカ 22 : 19 ー

それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

ここにおられる人は、セットの上部を開けて、パンを取り、少々お待ちください。オンラインの人は、パンを取って、しばらくお待ちください。一緒に与りましょう。私たちの手にあるこのパンは、イエス・キリストの御体の象徴、骨ではなく、皮膚が裂かれ(砕かれ)ました。7箇所砕かれたのです。完成数の「7」「完了した。」(ヨハネ 19 : 30) 十字架の御業が完了しました。「7」イエスは7箇所を砕かれ、7箇所から血を流されました。私たちの身代わりに、血を流されました。それを杯で祝い、記念します。そう、過越の子羊の体が血を流すため砕かれなければならなかったように、イエスの体も砕かれました。イエスは、過越の預言の成就です。過ぎ越しとは、家の門柱に、クリスチャンの人生に子羊の血が十字架の形に塗られていれば、死の御使いは、過ぎ越し/通り過ぎ、私たちは救われる。エゼキエルが千年王国の捧げ物について記しているのと同じように、これはお祝いなのです。そこには祝福が、記念があり、イエスがなされたことを祝うのです。イスラエルはそのすべてを見逃しました。彼らには神殿がありましたが、イエスがいません。彼らにはエルサレムはありましたが、イエスはいませんでした。彼らは土地を持っていました。全てではなくとも。しかし、彼らにはイエスがいなかった。ですから、彼らはそれを逃してしまいました。主は、彼らから、それが奪われることを望んでおられません。ですから、千年王国では、彼らが以前は味わえなかったものを楽しめるようになさるのです。すべては記念で、その犠牲を思い起こすもの。千年王国の捧げ物は、イエスが

なされた全てを記念し覚えるものです。だからイエスは仰っているのです。「わたしを覚えて、これを行いなさい。」「何度でもしなさい。でも、するときは、その度にわたしがしたことを思い出してほしいのです。あなたがたのために砕かれたわたしの体を。」共に（パンに）与りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、あなたを思い出すように、これをさせてくださりありがとうございます。私たちは忙しくストレスの多い生活で、心配事や事柄にとらわれ、忘れてしまいます。私たちに永遠のいのちがあることを忘れます。あなたが命を捧げてくださったからあるのです。主よ、私たちを再調整して下さり感謝します。これは再集中で、再調整で、再設定で、あなたが私たちの罪のために死なれ、私たちを買い取るため代価を全額支払われ、そうすることで私たちに永遠の命の賜物を差し出してくださる十字架に、私たちを連れ戻すための。主よ、感謝します。このことをあなたに感謝します。この必要不可欠な念押しに感謝します。ルカは続けて語ります。

ールカ 22:20ー

食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

ここにおられる人は、セットの下部を開けて、お待ちください。繰り返しますが、この手に持っているのはイエス・キリストの血潮の象徴です。新しい契約の血です。どういう意味なのか？ そう、古い契約は、ヘブル語の「コファール」＝覆うだけです。それは罪を取り除いたり、罪を清めることはありませんでした。イエスが来られて成就されるまでは、旧約における罪の覆いに過ぎませんでした。旧約はそれを取り払ったのではなく、イエスの血が、新約を成就させたのです。今や、イエスは罪を覆い隠す代わりに、イエスの血がなされるのは、罪の赦し・罪の取り除きです。東が西から遠く離れているように 背きの罪を私たちから遠く離され（詩篇103:12）

罪が緋のように赤くても、雪のように白くなり、（イザヤ 1:18） もう思い出さない。

私はそれをいただきます。もう思い出すこととは、、、その皮肉ときたら、私たちは、私たちがしたことをもう思い出されないイエスというお方がなされたことを思い出す。イエスは、私たちがしたことをもう思い出されません。嬉しくないですか？ 私は、忘れられたらいいのに。いえ、私たちはまだ覚えています。私たちが忘れてしまったら、イエスがその罪のためにしてくださったことを忘れてしまうからです。非難ではありません。多くを赦された者は、多くを愛する。（ルカ 7:47）

赦された量に比例して、私は愛する。イエスが罪を贖ってくださった意味で、イエスがどれほど私を赦してくださったかを思い出すとき、私はそれに答え、優しくなります。それが、私たちは罪の意識に立ち返らない理由。

「今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。」（ローマ 8:1）

しかし、それはただ思い出すことで、確信することで、そしてイエスがその代償を払ってくださったことへのお祝いなのです。それがどんなものかという、この後与りますから。聞いてください。サタンがやってきて、あなたに恐ろしい罪を思い出させる。それほど過去のことでなくてもよく、きっと、、、これを言う時、どなたも見たくありません。隣の人を見ないでください。先週犯した罪かもしれません。サタンは常にあなたを非難し、罪悪感のインフラを構築しようとします。またしても敵は、あなたを主から遠ざけようとしているから。しかし、あなたは、その罪が贖われた十字架に、できるだけ早く行くこと以外、何もする必要はありません。だから、こんな感じです。「ええ、私は罪を犯しましたが、神はその代償を払って下さいました。」支払われました。私は赦されている。そして、私たちの手にある象徴の、イエスが流されたこの血は、贖われたことを思い出させるものです。私には未返済の負債はない。その代償を払う必要はない。しかし、サタンは私たちにこう思わせたいのです。「その代償は払ってもらおうぞ。」今や、結果が伴わないというわけではなく、しかし、時に神のあわれみで助けられ、受けるべき罪の報いを受けないこともあります。主は私たちに慈悲深く、憐れみ深いです。時に結果が必要なこともあります。罪はそれ自体が報いだから。自分の罪の結果を味わい、その結果の杯を飲む時、その罪から自分を遠ざけるといふ、必要不可欠な効果があります。なぜなら、その罪の苦味は、その罪の一時の快樂の後、長く残るからです。その苦味が、悲しみが。真の悔い改めへと導く神の悲しみ。では、共に与る際に、それが取り除かれたことを思い出しましょ

う。罪は取り除かれました。罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。私たちがするのは、「第一ヨハネの手紙 1 : 9」のクリスチャンの石鹸。

ーIヨハネ 1 : 9ー

もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

私たちが祝っているイエス・キリストの血潮の清めの力です。共に与りましょう。主よ、ありがとうございます。皆さんご起立ください。締めくくりです。カポノ、上がってきてください。

主よ、ありがとうございます。まず、「このエゼキエル書」をありがとうございます。あなたの御言葉で、なんと豊かな時間でしょうか。この書を通し、多くの学びがあります。聖書聖典に含めてくださって感謝します。エゼキエルに記すよう導いてくださり感謝します。ですから、何世代も後の私たちがそれを学び、読み、聞き、心に刻むことができますのです。最後に主よ、ありがとうございます。十字架に行かれたこと感謝します。私たちのために、血を流してくださり感謝します。罪が赦され、その罪の重荷が完全に取り除かれ、その罪の負債が完済されたことを感謝します。主よ、感謝してもしきれません。私たちも、今夜私たちがここで行ったことが、あなたの御国で成就されるときするのを切望します。それは私たちの理解では高尚すぎます。子羊の婚宴であなたの花嫁として、あなたの側で、あなたと一緒に分かち合うのですから。私たちがここでしたことがあなたの御国で成就します。

主よ、私たちは待ちきれません。私たちは切に待ち望みます。切に願います。イエスよ、マラナタ。

主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7